

# 学校の3つのポリシー

## ディプロマポリシー（専門士・高度専門士授与方針）

大阪保健福祉専門学校では、高等職業人教育を通じて社会に貢献することをミッションとし、保健・看護・医療・福祉・保育といった各業界で即戦力となる人材の養成を行います。各学科において、所定の課程を修め、卒業に必要な単位を取得した者で、次に掲げる目標を達成している者に卒業の認定と専門士若しくは高度専門士の称号を授与します。

- 1 保健・看護・医療・福祉・保育といった各業界で必要とされる職業観と倫理観をしっかりと備え、専門的な知識と技術に基づいて主体的、創造的に思考し、判断し、表現することができる
- 2 豊かな社会性やコミュニケーション力を活かし、積極的に他者と関わり、価値観の違いを尊重した上で協働することができる
- 3 社会の変化に柔軟に対応するため、また自身の成長のために自己研鑽を続けることができる
- 4 保健・看護・医療・福祉・保育に関する国際的な視野をもって社会に貢献し、地域に根ざした活動を行うことができる。

## カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）

大阪保健福祉専門学校では、「建学の理念」である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づき、保健・看護・医療・福祉・保育といった各業界に必要な専門的な知識や技術が修得できる教育課程を編成して、専門職業教育とキャリア教育を行うことで、ディプロマポリシーの達成を図ります。

- 1 科学的知識の習得や論理的・批判的思考力を育成するために「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」を体系的、段階的に配置し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた科目を開講します。
- 2 保健・看護・医療・福祉・保育業界で求められる専門職業人としての役割を理解し、多職種と連携・協働する態度教育を課外活動と科目を関連させて編成します。
- 3 他者に関心を持ち、コミュニケーション力の向上と多様な価値観の受容ができるよう、地域に根ざした課外活動や各業界と連携した実習を実施します。
- 4 課題発見や問題解決能力、生涯学習力を養うために、学んだ知識と技術を基に、自らテーマを設定して研究を行ない、その研究成果として卒業論文にまとめる科目を配置し、学生同士が互いにその成果を発表する場を設けます。
- 5 グローバルな視点や国際的コミュニケーション能力を育成するために、外国語科目や海外の大学での研修を組み込んだ科目を配置します。
- 6 入学前の関わりから卒業後まで、キャリアの形成、設計、開発ができる力が身につくように一環したキャリア教育を行います。

## アドミッションポリシー（入学者受入方針）

大阪保健福祉専門学校では、本学の建学の理念に共感し、目標や目的を持って専門的な知識・技術を学び、卒業後は保健・看護・医療・福祉・保育といった各業界での活躍を目指すことのできる、以下のような意欲のある入学者を求めています。

- 1 本学の建学の理念に共感し、保健・看護・医療・福祉・保育といった各業界で活躍できる専門性を身につけ、社会に貢献したいと考える人
- 2 目指す職業を理解し、保健・看護・医療・福祉・保育の各業界に必要な知識や技術、資格を修得することを前提とした、基礎学力を有する人
- 3 主体的に積極的に学ぶ姿勢や態度を有し、謙虚に自分を振り返る努力を継続する人
- 4 相手の気持ちを尊重し、対人援助に必要なコミュニケーション能力を身につける意欲のある人
- 5 対人援助職者として、協調性を高め、仲間と共に成長する意思のある人
- 6 日本国内だけでなく、海外にも興味を持ち、交流を図ろうとする積極的な姿勢を持っている人